



欧州景気概況(2022年8月)



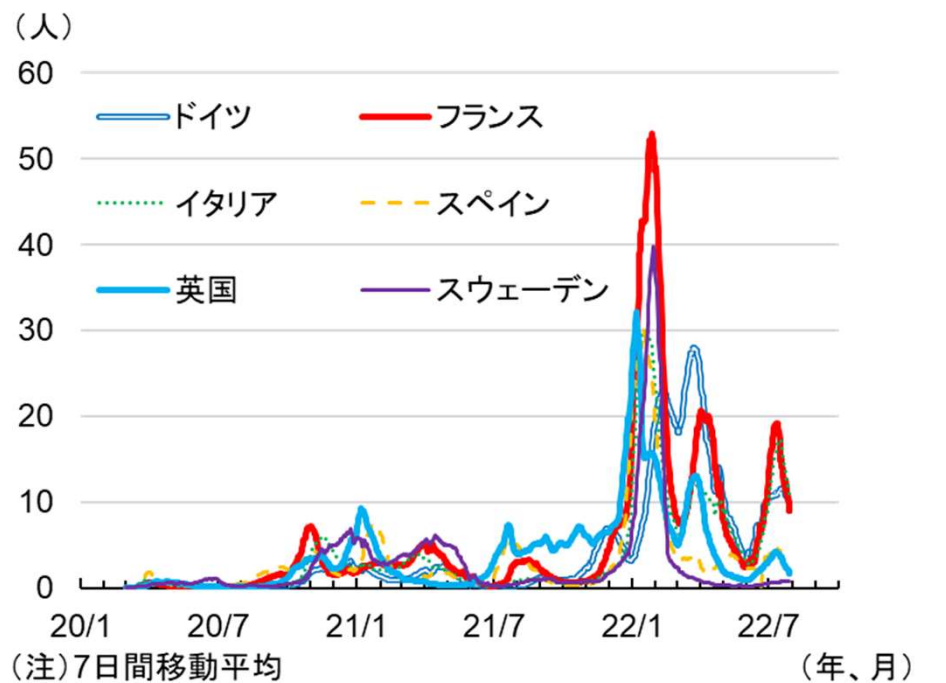
2022年8月2日

調査部 副主任研究員 土田陽介

新型コロナウイルスの感染状況

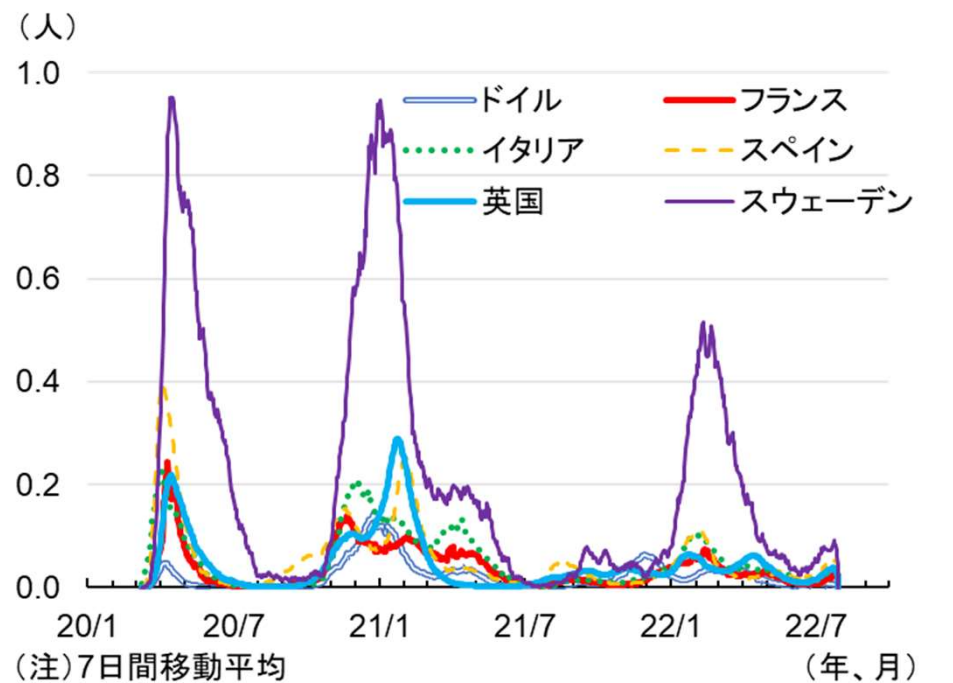
欧州では新型コロナウイルスの新規感染者数が拡大傾向にあるが、死亡者数は減少が続いている。また各国とも行動制限を撤廃しており、景気への負荷は解消されている。

人口一人当たりの新規感染者数



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)及び英国民保健サービス(NHS)、国際保健機関(WHO)

人口百万人当たりの新規死亡者数

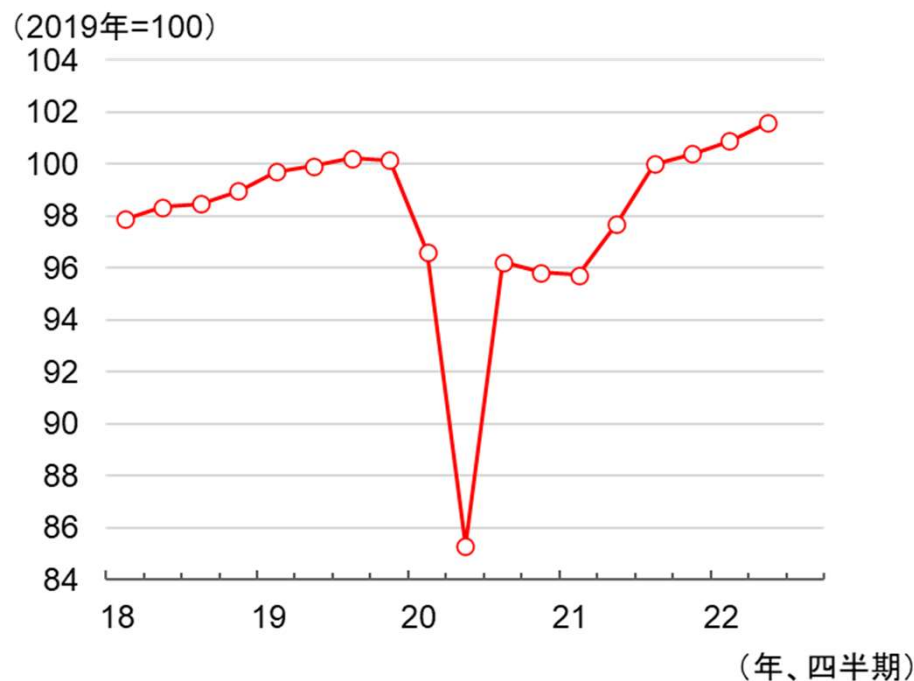


(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)及び英国民保健サービス(NHS)、国際保健機関(WHO)

ユーロ圏景気概況① 景気は拡大している

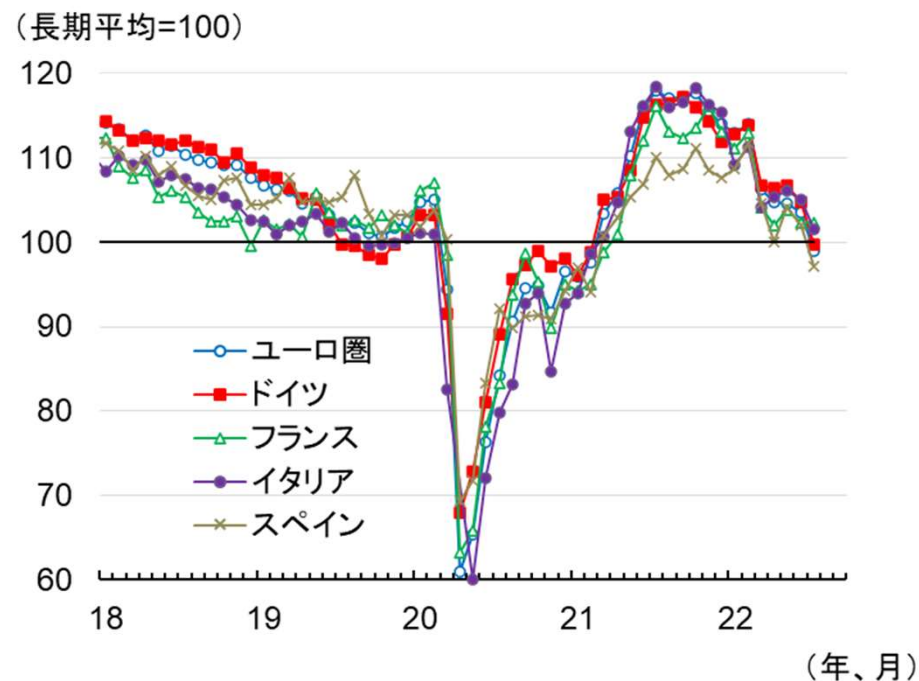
ユーロ圏の4-6月期の実質GDP(速報値)は前期比+0.7%と、1-3月(同+0.5%)から増勢が加速した。とはいえ月次指標からは個人消費の弱さが読み取れ、景気の実勢は数値の印象ほど強くない模様。また7月の景況感指数は99.0と中立水準である100を下回り、景気の悪化を示唆。

実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

景況感指数



(出所) 欧州委員会ECFIN

ユーロ圏景気概況② 生産は低迷

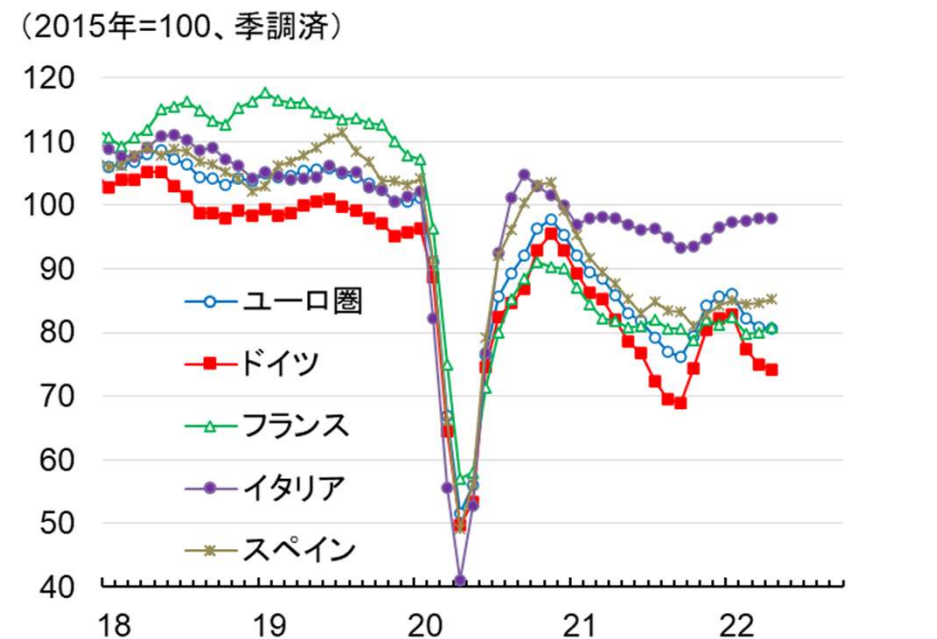
ユーロ圏の5月の鉱工業生産は前月比+0.8%と2ヶ月連続で増加したが、均した動きは横ばい。ロシアのウクライナ侵攻に伴うサプライチェーンの混乱が生産を下押しした。また鉱工業生産ベースで見た自動車生産も、ドイツを中心に調整色を濃くしている。

鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ユーロスタット (年、月)

自動車生産台数(鉱工業生産ベース)



(注) 3ヶ月後方移動平均
(出所) ユーロスタット (年、月)

ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化

ユーロ圏の5月の小売数量は前月比+0.2%と再び増加も、均した動きは下向き。6月の新車販売台数は前月比-0.3%の年率728万台と再び増加も、均した動きは底這い状態。インフレ加速を受けた消費マインドの悪化や、サプライチェーンの混乱の影響を受けた模様。

小売数量



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ユーロスタット

新車販売台数

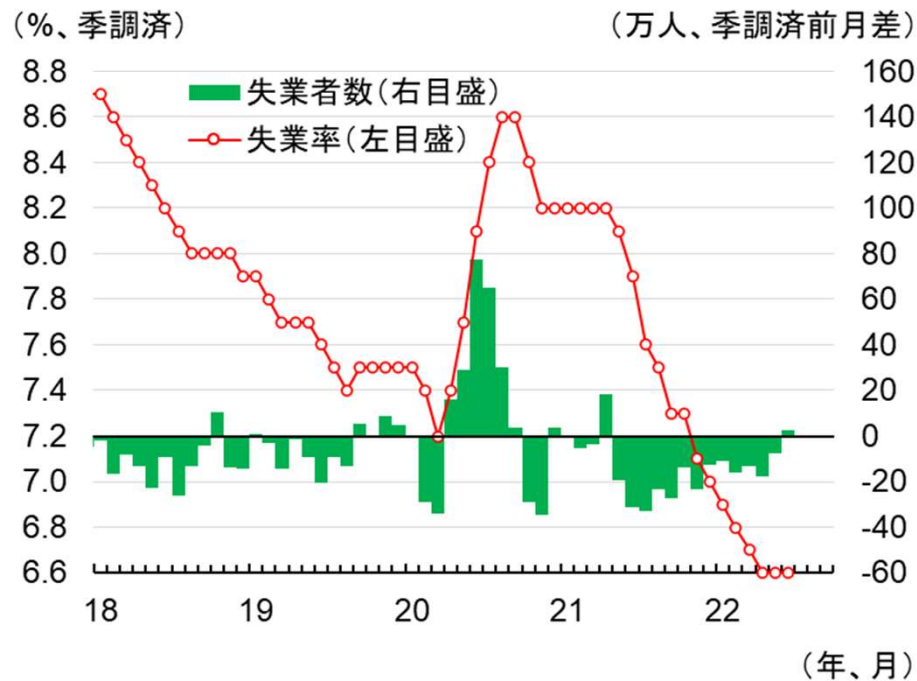


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) 欧州中央銀行(ECB)

ユーロ圏景気概況④ 雇用は改善が一服

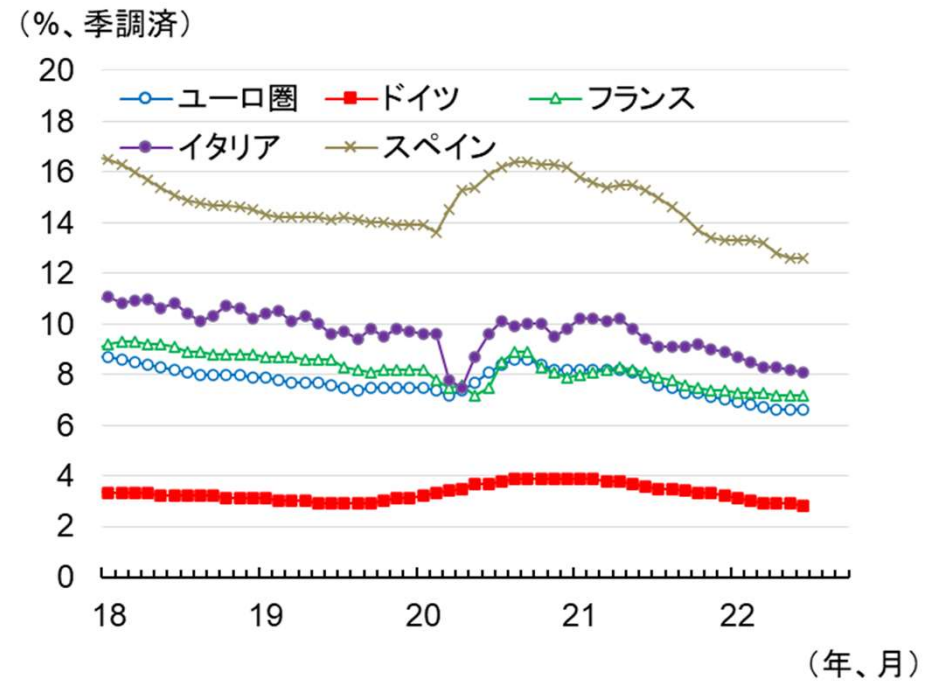
ユーロ圏の6月の雇用統計では、失業率が6.6%と3ヶ月連続で横ばいとなり、失業者数も前月比2.5万人増になるなど、雇用情勢は改善が一服した。主要国別に失業率を見ても、失業率は下げ止まっている。

失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

主要国別失業率

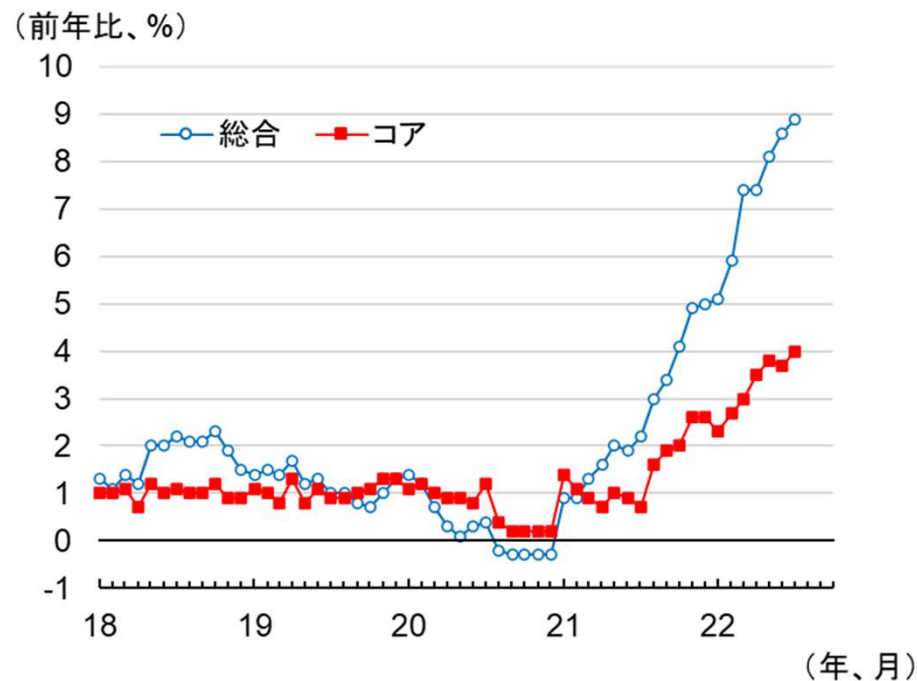


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑤ 物価はインフレが加速

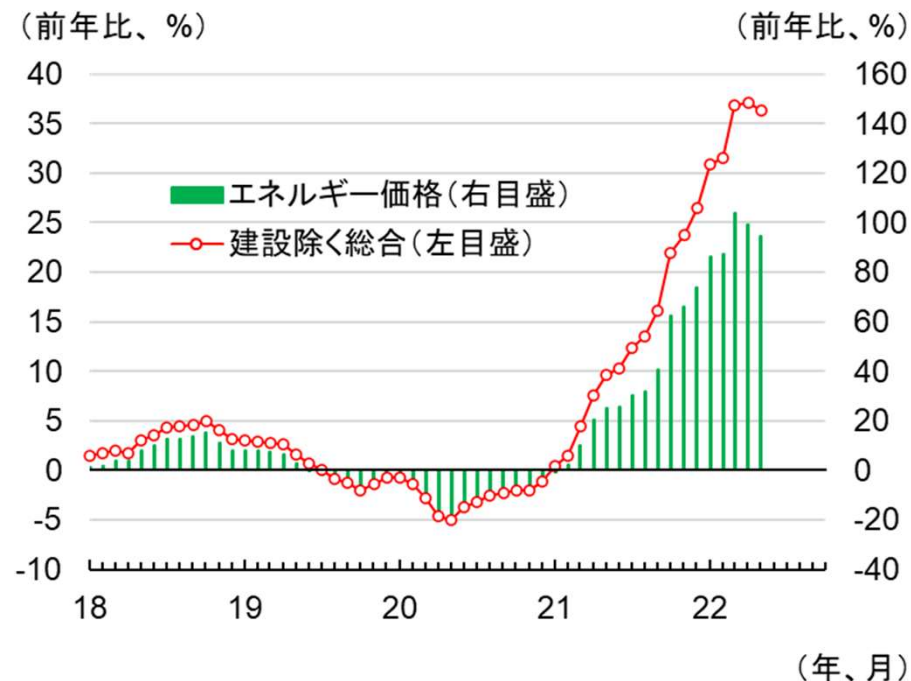
ユーロ圏の7月の消費者物価(速報値)は前年比+8.9%と、インフレが加速した。先行指標である生産者物価(建設を除くベース)は5月時点で前年比+36.3%と、前月(+37.2%)から小幅だが伸びが鈍化した。うちエネルギー価格は+94.4%と2ヶ月連続で伸び幅が縮小した。

消費者物価



(出所)ユーロスタット

生産者物価

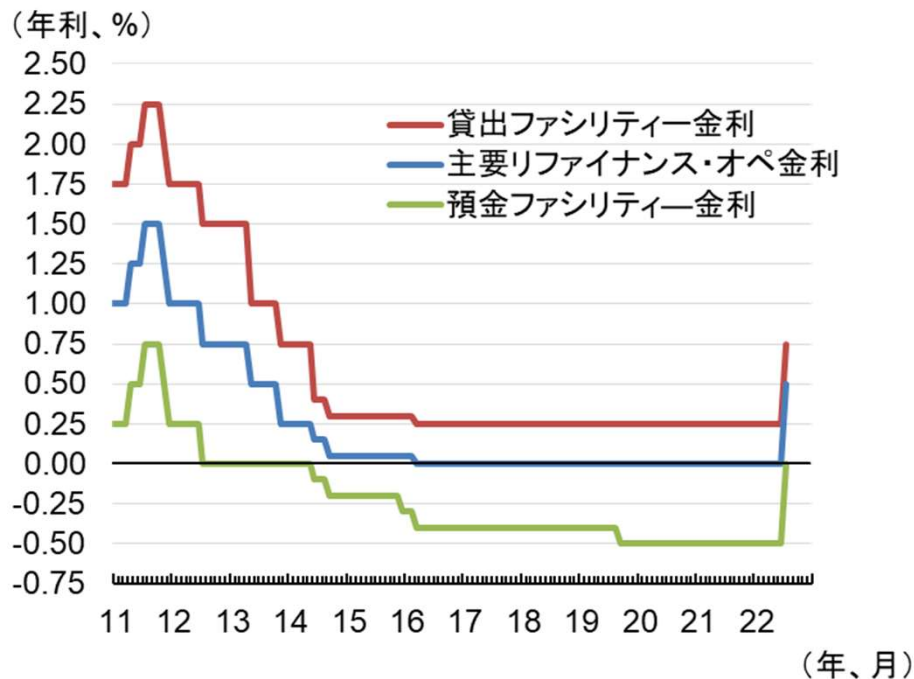


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑥ ECBは7月理事会で利上げを実施

欧州中央銀行(ECB)は7月21日に定例理事会を開催、各種政策金利を0.5%ずつ引き上げた。重債務国の金利上昇の抑制に関しては、6月15日の臨時理事会での決定どおり、まずはPEPPの再投資柔軟化で対応することが確認されるとともに、「市場分断防止策(TIP)」の概要も発表された。次回理事会は9月8日を予定。

ECBの政策金利



(出所) 欧州中央銀行(ECB)

7月理事会での決定内容の概要

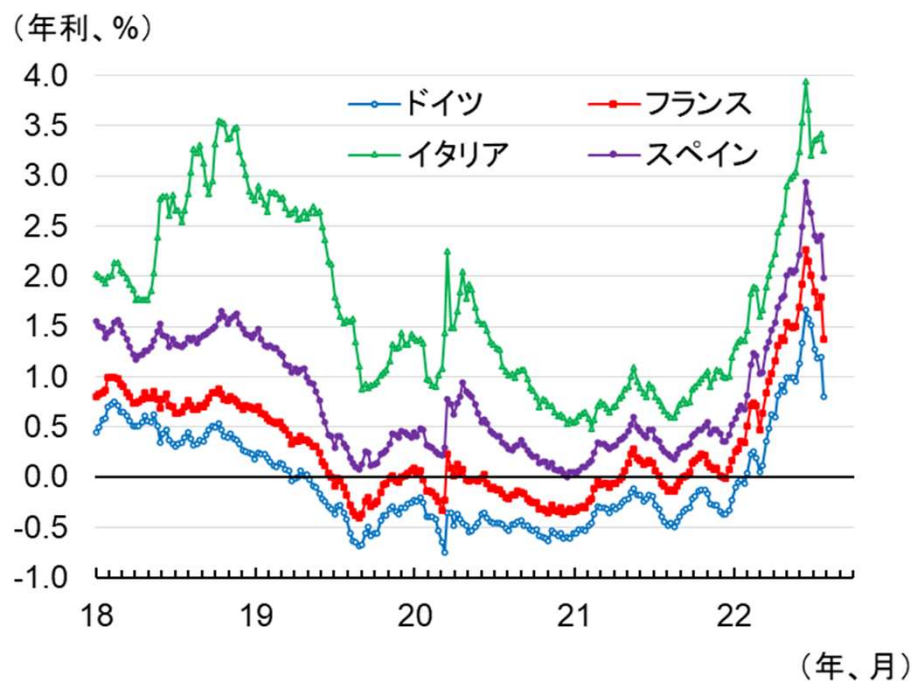
主な決定事項	内容
政策金利	<ul style="list-style-type: none"> 各政策金利を0.5%ずつ引き上げ 貸出ファシリティ金利 0.25%→0.75% 主要リファイナンス・オペ金利 0.00%→0.50% 預金ファシリティ金利 ▲0.50%→0.00%
資産購入の再投資政策	<ul style="list-style-type: none"> 資産購入プログラム(APP) 再投資は金融環境の安定が確認された後に終了 パンデミック緊急購入プログラム(PEPP) 再投資は2024年末で終了 各国中銀の出資比率に応じた資産購入などを適用せず、柔軟な購入を行う
市場分断防止策(TPI)	<ul style="list-style-type: none"> TPIの適用条件 EUが定める財政ルールの順守 健全なマクロ経済運営(過剰な経常赤字の是正など) TPIの具体的な手段 流通市場での国債購入、金額は無制限 購入対象資産は国債が中心、社債も視野、満期1~10年 状況が改善すれば終了 経済の基礎的条件に基づく金利上昇には適用せず

(出所) ECB

ユーロ圏景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

7月のユーロ圏の長期金利は低下した。ECBが7月21日の理事会で0.5%の利上げを実施したが、景気後退への懸念が勝り金利は低下した。また政治リスクを抱えるイタリアとドイツの金利差は拡大した。一方で株価は上昇した。エネルギー高を受けた資源株やECBの利上げを受けた銀行株が相場の上昇をけん引した。

長期金利



(出所) ECB

株価 (Eurostoxx50)



(出所) STOXX

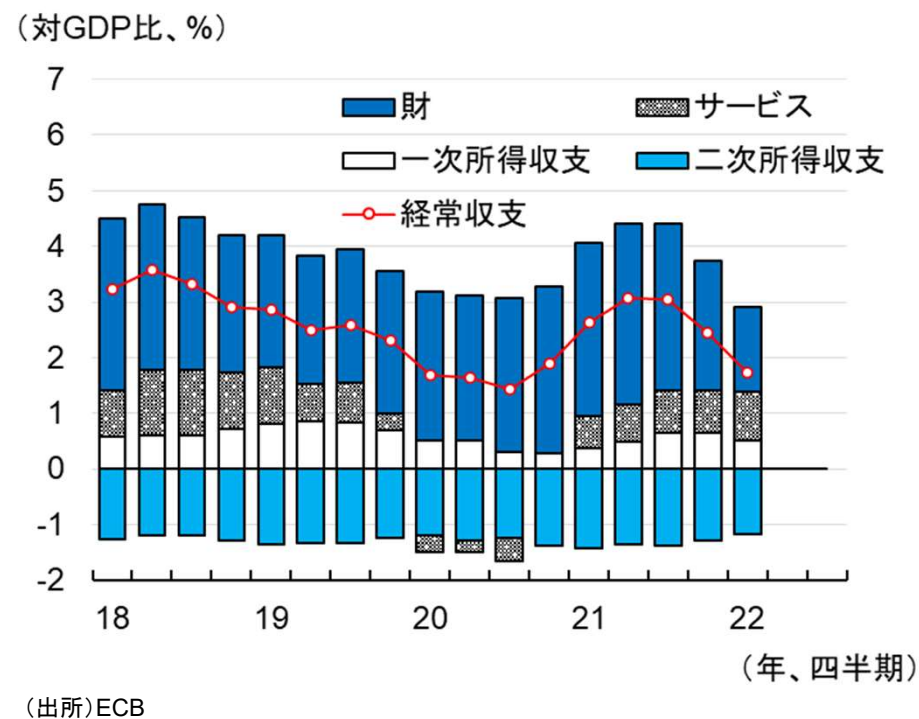
ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドル、対円で下落

7月のユーロ相場は対ドル、対円で下落。米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを進める一方で、ECBが利上げに出遅れているため、対ドルではユーロが下落した。対円では、欧米の景気後退への懸念からユーロが下落した。経常収支は財貿易収支の黒字幅が徐々に縮小しており、実需面からのユーロ買い圧力は弱まっている。

ユーロ相場



国際収支

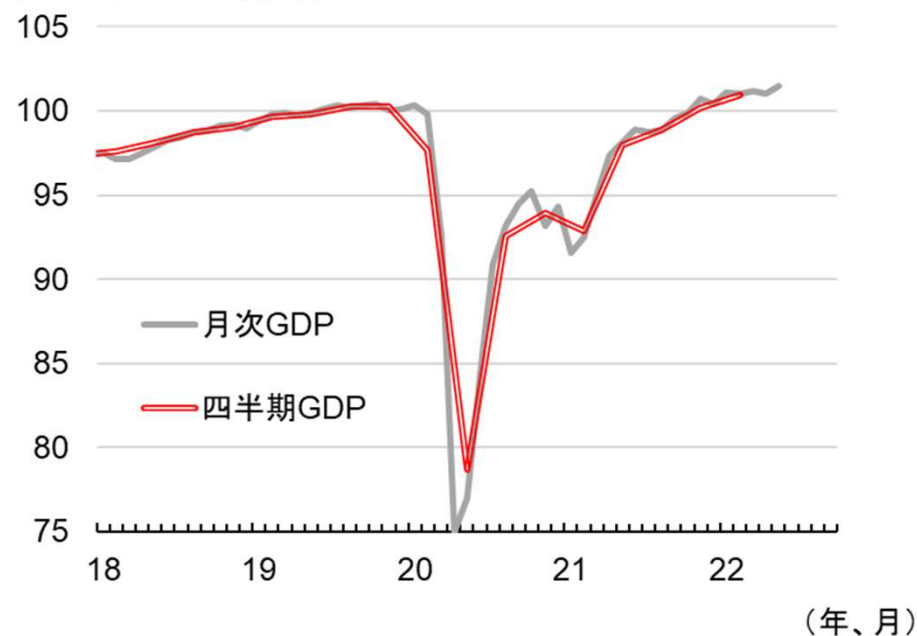


英国景気概況① 景気は回復している

英国の1-3月期の実質GDPは前期比+0.8%と、昨年10-12月期(同+1.3%)から伸びが鈍化した。産業別には、工業が伸びを加速させたが、反面でサービス業の伸びが鈍化した。また5月の月次実質GDPは前月比+0.5%と再び増加した。

実質GDP

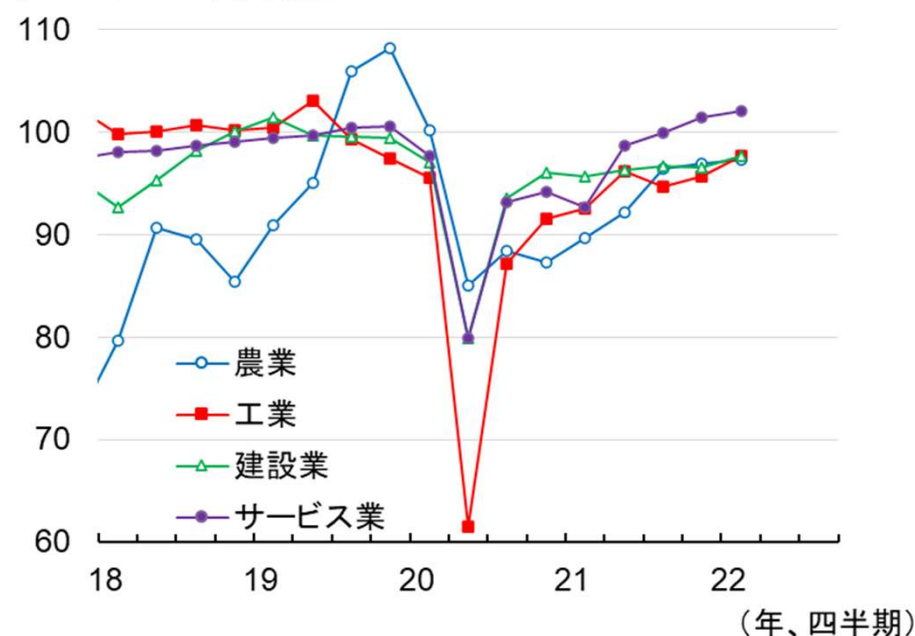
(2019年=100、季調済)



(出所)英国立統計局(ONS)

実質GVA(粗付加価値)

(2019年=100、季調済)

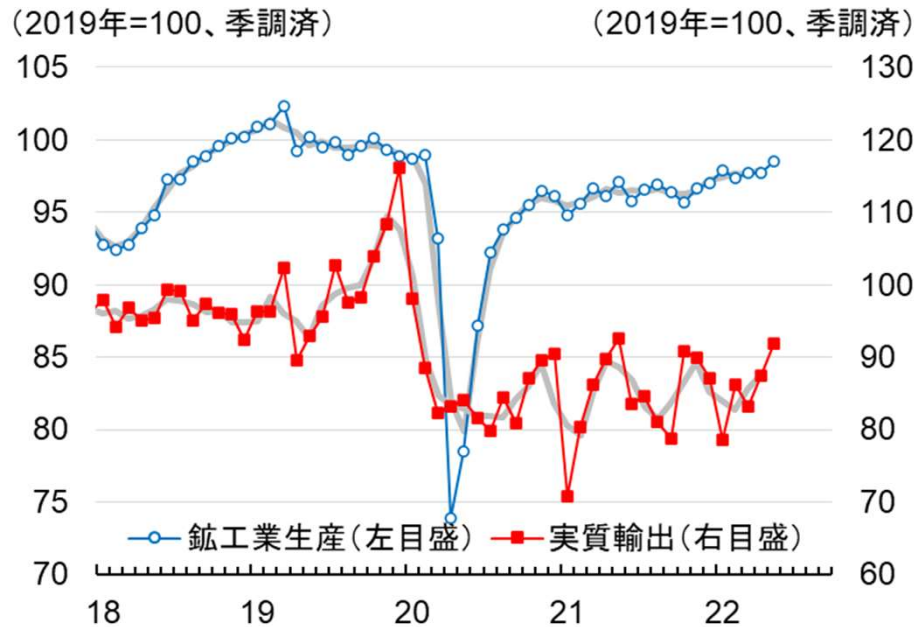


(出所)ONS

英国景気概況② 生産は増加

英国の5月の鉱工業生産は前月比+0.4%と再び増加し、均した動きは上向き。一方で、同月の実質輸出は同+5.0%と2ヶ月連続で同じ伸びも、均した動きは横ばい圏で推移。また同月のサービス生産は前月比+0.4%と再び上昇も、均した動きは横ばい。

生産と輸出



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ONS (年、月)

サービス業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ONS (年、月)

英国景気概況③ 消費は低迷

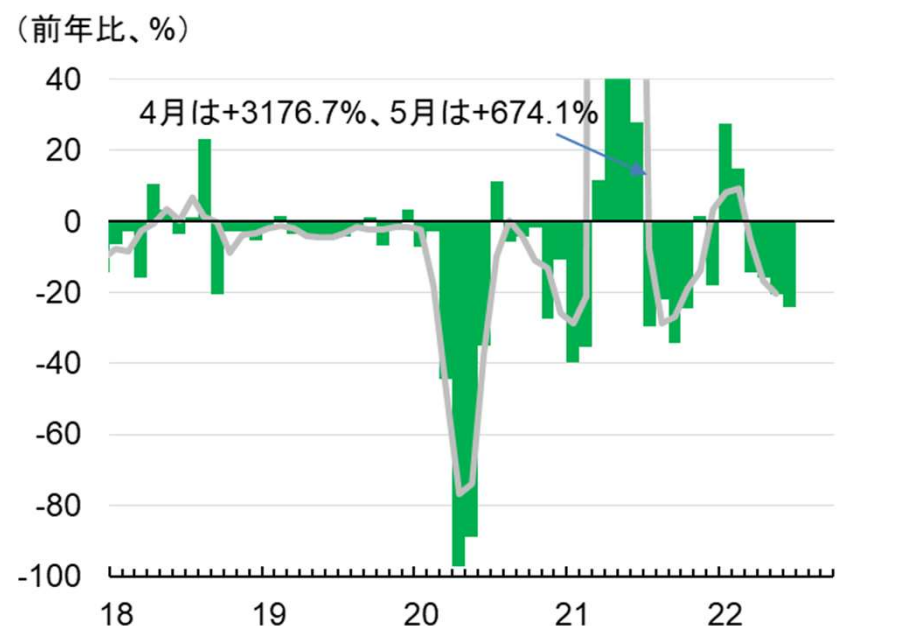
英国の6月の小売数量(除く石油)は前月比+0.4%と8ヶ月ぶりの増加も、均した動きは下向き。一方で、同月の新車販売台数(乗用車)は前年比-24.3%(14.1万台)と2ヶ月連続でマイナス幅が拡大、均した動きも前年割れが定着している。ロシアのウクライナ侵攻に伴うサプライチェーンの混乱の影響を受けた模様。

小売数量(除く石油)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所)ONS (年、月)

新車販売台数(乗用車)

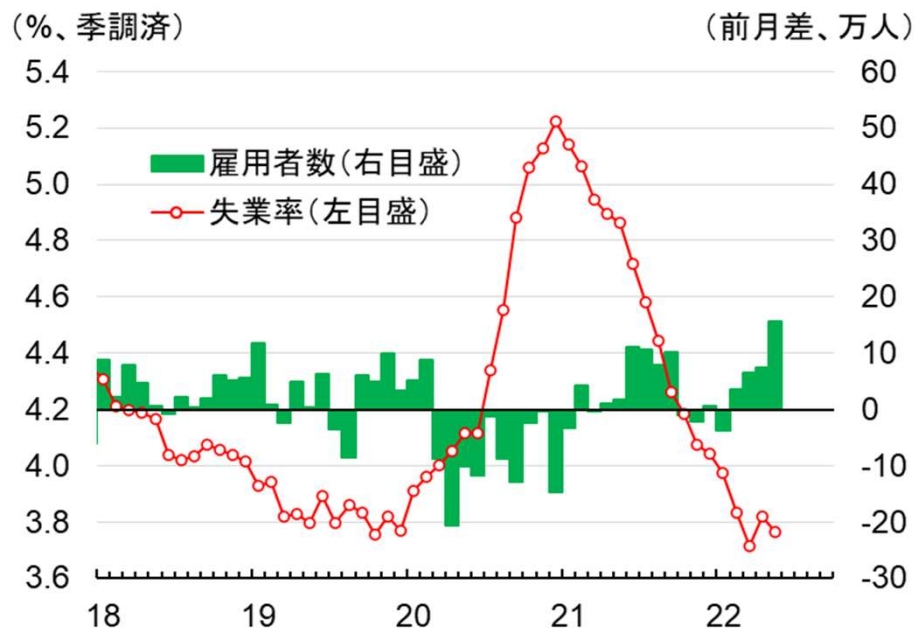


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所)ONS (年、月)

英国景気概況④ 雇用は改善

英国の5月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率が3.8%(3.76%)と前月(3.82%)から横ばいとなった一方、雇用者数は前月比15.6万人増と増加が続いており、雇用情勢は改善している。均して見た賃金の増勢は名目ベースでは伸びが鈍化しており、消費者物価で実質化した実質ベースでは大幅な前年割れとなっている。

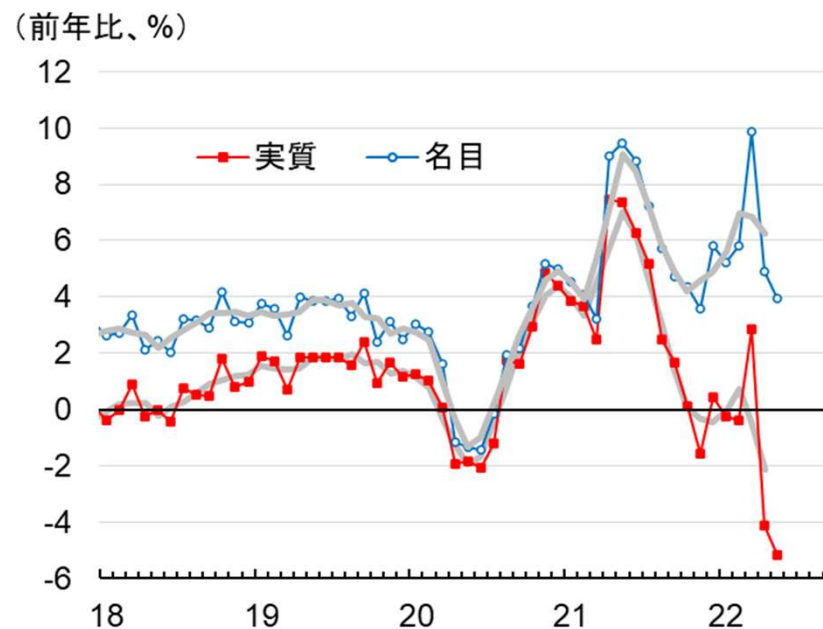
雇用統計



(注) 3ヶ月間の平均値
(出所) ONS

(年、月)

平均賃金(週給)



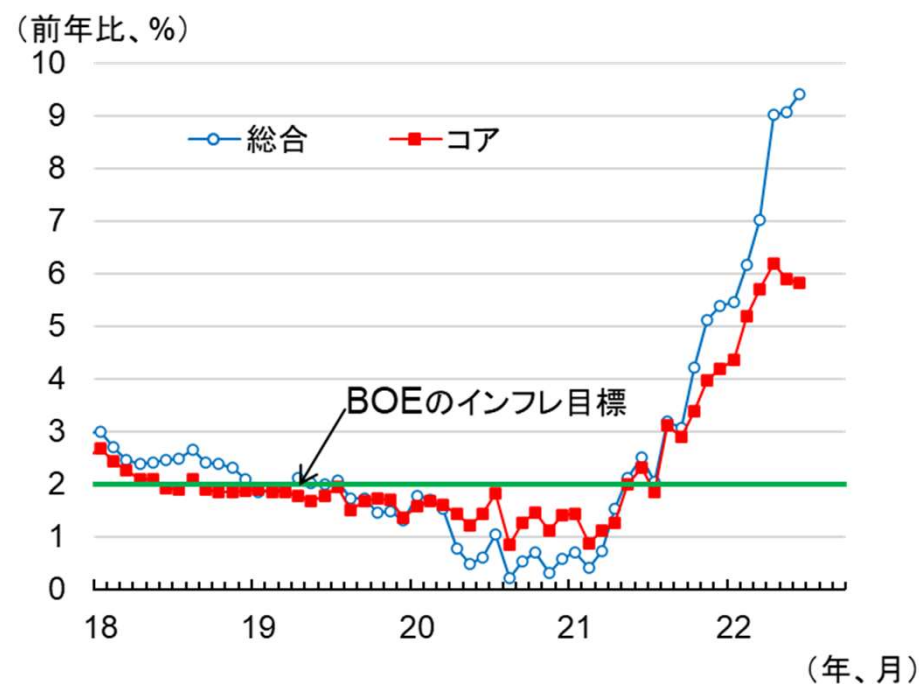
(注) 灰色線は3ヶ月移動平均
(出所) ONS

(年、月)

英国景気概況⑤ 物価はインフレが加速

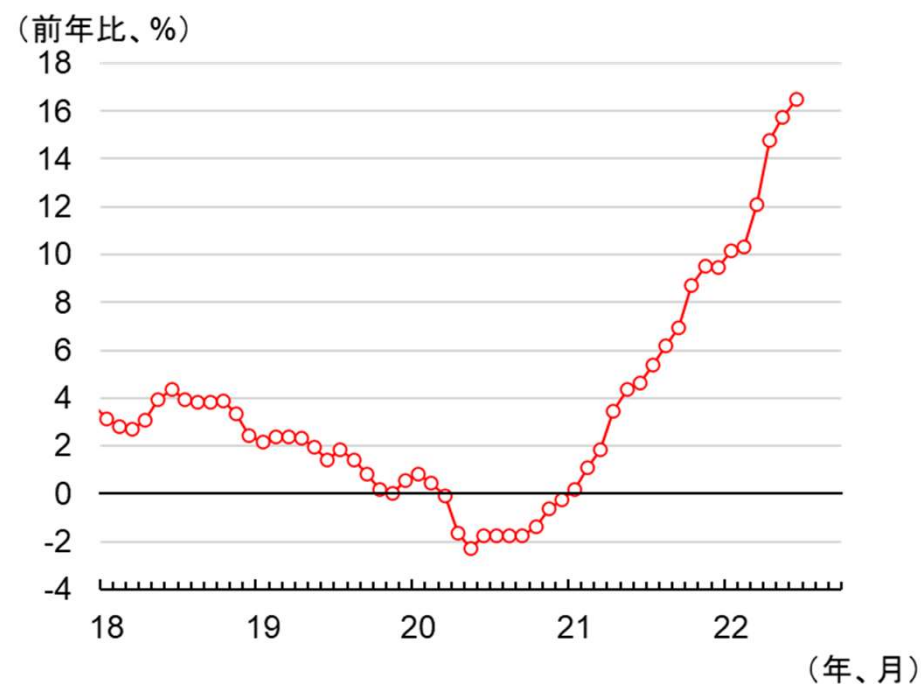
英国の6月の消費者物価は総合指数ベースで前年比+9.1%と、1982年以来の高水準まで伸びが加速した。同月の生産者物価も同+16.5%と伸び幅の拡大が続いており、今後もインフレが加速する可能性を示唆。

消費者物価



(出所)ONS

生産者物価(投入価格、除く関税)

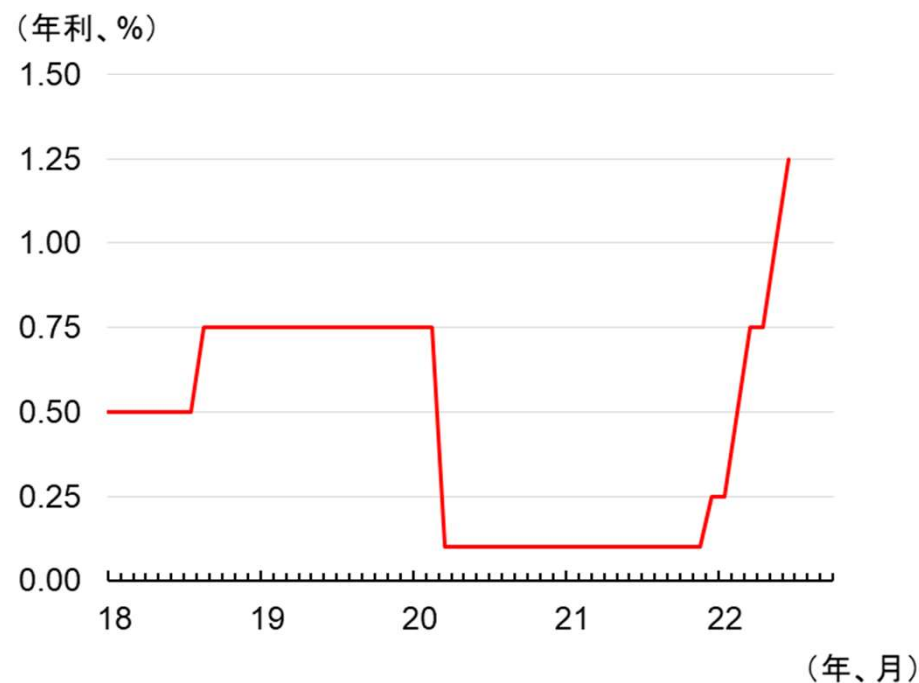


(出所)ONS

英国景気概況⑥ BOEは追加利上げを実施

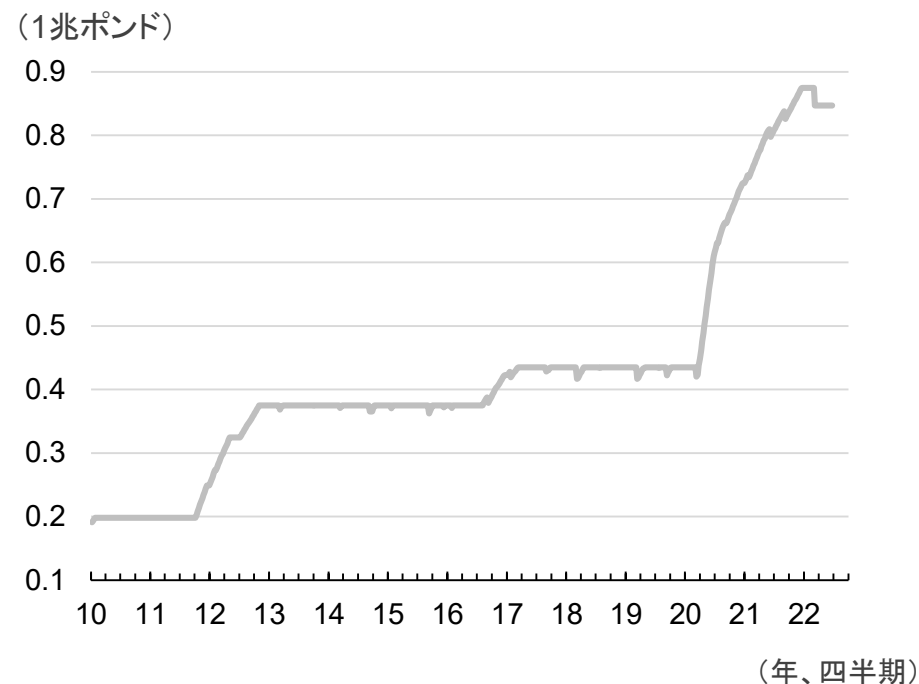
イングランド銀行(BOE)は6月16日に金融政策委員会(MPC)を開催、政策金利を1%から1.25%に引き上げた。またBOEは保有国債の売却計画の策定に着手し、次回8月4日の会合で示した上で、その後の会合で売却を開始するか決定するとしている。

政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

英中銀の国債保有高

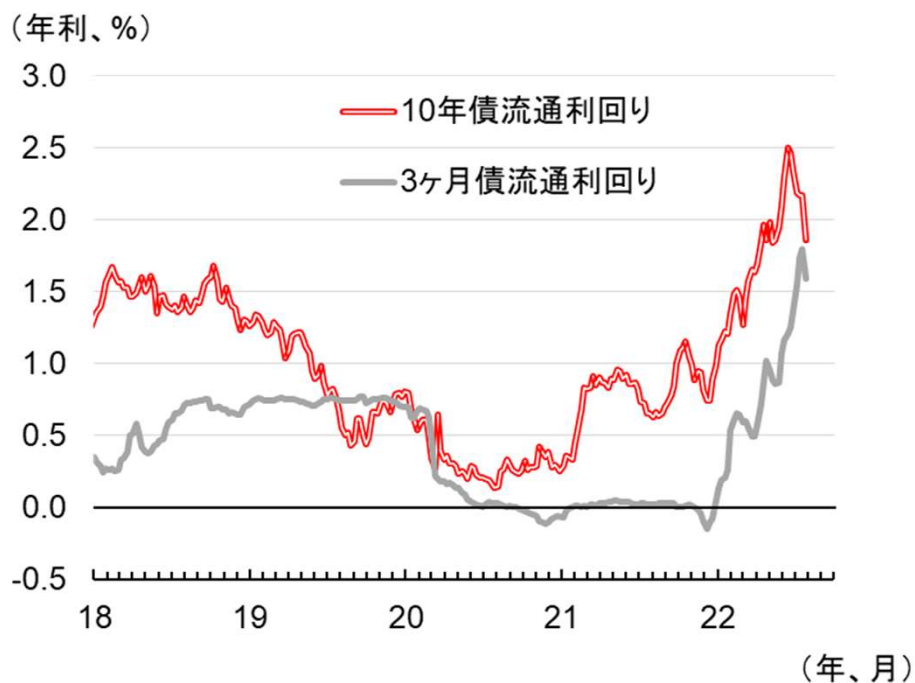


(出所)BOE

英国景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

7月の英国の長期金利は下落した。BOEやFRBの追加利上げにもかかわらず、景気後退懸念から長期金利は低下した。一方で株価は上昇した。エネルギー高を受けた資源株やECBの利上げを受けた銀行株が相場の上昇をけん引した。

金利



(出所)BOE

株価 (FT30指数)

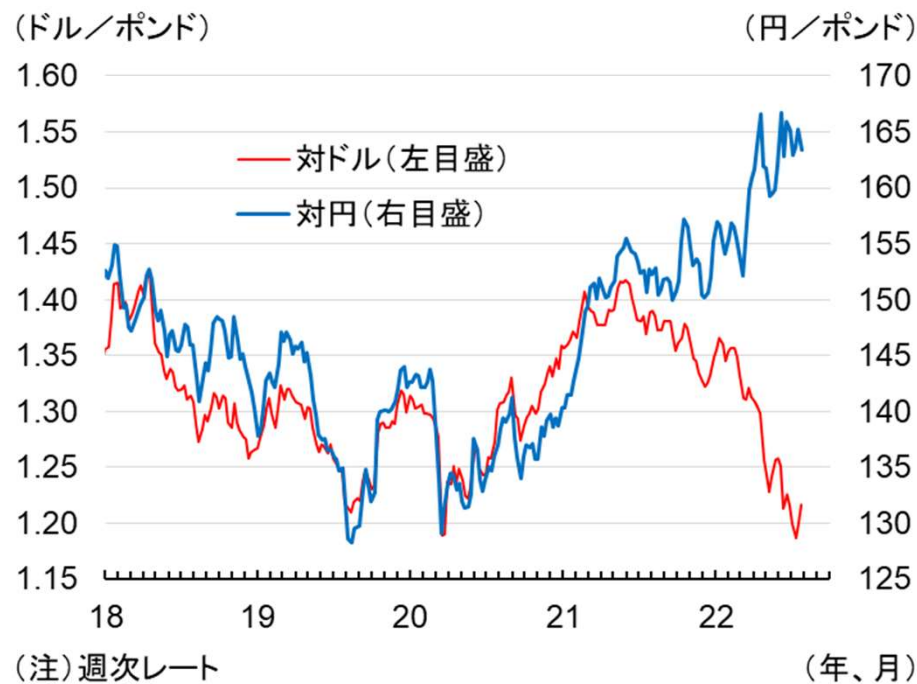


(出所)BOE

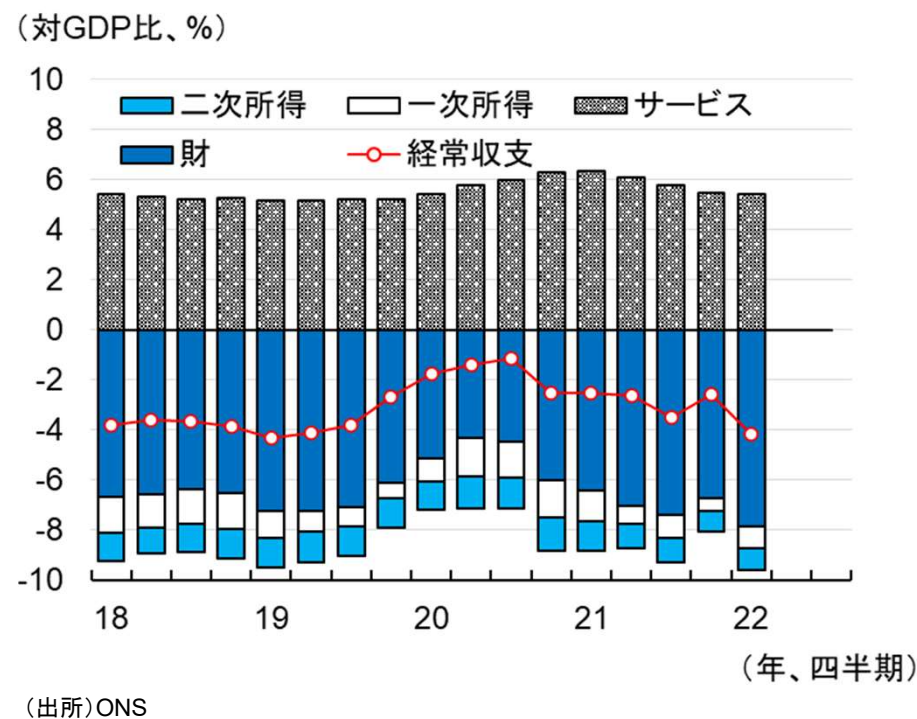
英国景気概況⑧ 対ドルで下落後に上昇、対円で横ばい

7月のポンド相場は対ドルで下落後に上昇、対円で横ばい。月前半は世界的なドル高の流れを受けてポンドが下落したが、月後半は米国景気の減速懸念からドルが下落しポンドは上昇した。国際収支は、経常収支が赤字を拡大させており、実需面からのポンド買い支え圧力は弱い。

ポンド相場



国際収支



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください